

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年12月18日～12月22日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
12月18日	1号機北側変圧器用防火壁 撤去作業の状況確認	1号機原子炉建屋北側	○10月4日に750tクローラークレーンが接触して破損した1号機原子炉建屋北側にある変圧器用防火壁について、撤去工事が始まったことから、状況を確認した。 確認時には撤去作業は行われていなかったが、当該防火壁の撤去作業実施箇所周辺はダスト飛散防止用の白いシートで覆われており、一部が撤去されていた。	11時25分現在
	使用済保護衣等一時保管エリアcの状況確認	使用済保護衣等一時保管エリアc	○使用済保護衣等保管エリアcの現況について、現場確認した。 当該エリアは、No.2資機材倉庫内にあり、最大4段積みコンテナが整然と保管されていた。コンテナの占有率は約70%であり、入口側に空きスペースがあった。建屋入口扉付近には消火器が数本設置されており、壁には火災報知器が設置されていた。 現場で目視で確認した限り、廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。	
12月19日	A排水路の付替え工事の進捗状況の確認	固体廃棄物貯蔵庫第1、2棟西側、固体廃棄物貯蔵庫第3棟東側、物揚場	○A排水路について、既設排水路から新設排水路に付替える工事が行われていることから、進捗状況を確認した。 東京電力担当者によると、新設排水路の敷設工事は完了しており、現在、目地仕上げや片付け作業を実施しているとのことであった。今後は柵を設置し、2018年3月に通水させるとのことであった。また、新設排水路の下流側に漏えい検知用モニタ及びゲートを設置する予定とのことであり、当該モニタで警報が発生した場合などはゲートを遮断し、汚染水が拡大しないよう対応するとのことであった。	10時41分現在
12月20日	労働災害防止対策の取組状況の確認	定検用器材倉庫A No.5倉庫(免震重要棟駐車場北東側)	○富岡労働基準監督署との合同パトロールを行った。 富岡労働基準監督署が二班に分かれ、そのうちの一班に同行して、免震重要棟駐車場周辺エリアの作業現場の調査を行った。作業現場において、作業の概要を聴取するとともに、K.Y.(危険予知)活動の実施状況、使用重機の点検状況及び有資格者の配置状況等を確認した。 今回の合同パトロールでは、不適切な事項は確認されなかった。	11時55分現在
12月21日	窪地に設置されているサブドレンピットの雨水流入防止対策の実施状況確認	1、2号機原子炉建屋周辺 4号機タービン建屋南東側	○10月22日、台風21号の降雨の影響により、窪地に設置されていたサブドレンピットに雨水が流入し、連通している別のサブドレンピットが溢水し、ピットの水位監視ができなくなる事象が発生した。これに対して、暫定的な雨水流入防止対策が実施されたことから、その状況を確認した。 窪地に設置されているサブドレンピット4箇所のうち、アクセスできた2箇所のサブドレンピットの周囲には土のうが設置されており、孔口から雨水が流入しないよう対策が実施されていた。	11時51分現在
	1号機原子炉建屋防風フェンスの設置状況の確認	1号機原子炉建屋周辺	○12月19日に1号機原子炉建屋防風フェンス等の設置工事が完了したことから、状況を確認した。 計画どおり、防風フェンス及び作業床が設置されていることを確認した。	
12月22日	G1タンクエリアのタンク撤去工事の進捗状況の確認	G1タンクエリア	○G1タンクエリアの地中に埋設されている高濃度滞留水受タンク及び中低濃度滞留水受タンクの撤去工事の進捗状況を確認した。 撤去工事はまず始めに覆土を剥がし、その後地中からタンクを掘り出す計画であるが、確認時には作業は行われておらず、地上には工事用資機材などが大量に仮置きされたままとなっており、現場の状況から、撤去工事はまだ始まっていないものと思われた。	10時11分現在
	H9雨水回収タンク雨水移送配管からの漏えい箇所の補修状況確認	H9タンクエリア	○12月21日、H9雨水回収タンク内の水を移送するホースから雨水が漏れいしていることを協力企業作業員が発見し、その後補修されたことから、その状況を確認した。 ホースに釘が刺さっていたことが漏えいの原因とのことであり、確認時にはホースに補修テープが巻かれ、下部に漏えい拡大防止対策として受けパンが設置されていることを確認した。	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。